

「1学期を終えて 充実感・達成感」

流山市立東部中学校 校長 中曽根 仁史

この1学期、「充実感・達成感～仲間とともに～」を学校教育目標として、主体的・対話的に学び、行動する生徒の育成を目指して、教育活動を実践してきました。保護者の皆様には、ご理解、ご協力をいただき、ありがとうございました。

2学年の林間学園では、学級ごとに分かれて民宿に宿泊しながら、様々な活動を行い、「絆」を深めることができました。特に、楽しさと厳粛さ、それぞれを見事に作り上げたキャンプファイアーは、たいへん立派でした。スローガン「成長し、日常に活かす林間学園」を達成し、その後の学校生活で成長した姿を見せています。今後、学校の主役となっていくことで、ますますの活躍が期待されます。

3学年の修学旅行では、班行動をメインとして、京都・奈良の歴史や文化に触れることができました。3年間の集大成として臨み、各係が役割を果たし、リーダー会で反省し目標を立てながら、3日間を計画的に過ごしました。大人としての行動が求められる修学旅行で、さらなる成長を遂げることができました。このあと、「最後の」葛北大会、体育祭、椎木祭があり、進路開拓へと進んでいきます。有終の美を飾れるように、最後まで頑張ってもらいたいと思います。

1年生は、順調なスタートを切り、校外学習などの行事を経て学校生活が軌道に乗ってきました。授業では発言や挙手が多く、積極的です。また、委員会や係の活動を、自主的に進める姿が見られます。歌声や挨拶などには、1年生らしい元気の良さがあります。ポテンシャル（潜在能力）の高さを感じさせる学年であり、さらなる成長を期待しています。

このように、各学年ともに1学期を終えて成果を収めることができました。しかし、生活面や友人関係、いじめ、SNSなど、課題となることも少なからずありました。また、教育課程や学校生活等の見直しが必要なものもあります。生徒たちのよりよい成長を願って、ご家庭とも連携していきます。引き続き、よろしくお願いいたします。